自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール　　事業所名：ケアステーション21清池　ユニット名：みそら　外部評価実施日：令和5年1月25日

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型の運営理念として「住み慣れた地域で、なじみの場所、人とふれあい安心できる暮らし」「笑顔と楽しみのあるゆったりとした、その人らしい暮らし」という理念をホール等の目につくところに掲げ、常に意識出来るようにしている。理念を理解し、実現に向けて、毎日の申し送りやユニット会議などで話し合い、共有し実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、地域の方との付き合いは限られており、運営推進会議やお便りのなどを通してホームの様子を知ってもらうことにとどまっている。運営推進会議で地域の方の提案で今年から回覧板でホーム便りを回していただく	コロナ禍で、面会など気軽な交流が持てず、地域の方とのコミュニケーションに不足が生じている。 今年度から、地域の回覧板の方を利用させていただき、より多くの地域の方に施設の		

				事で、より多くの方にホームの事を知っていただいている。	事を知っていただく良い機会となっている。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ケ月に1回運営推進会議を開催し、市担当者・包括支援センター職員、地区長、民生委員、家族の方の参加を得て、運営状況等について説明・報告等を行っている。昨年から、運営推進会議で自己評価を踏まえて外部評価を行っており、会議での意見や提案を取り入れ事業所の運営に反映するようにしている。	コロナ禍ではあるが、感染対策をしながら外部の方と接する機会を得ることが出来ており、情報交換の場となっている。意見を伺いながら、運営に反映させサービスの向上につなげている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で運営推進会議が書面開催となることもあったが、市の担当者の方や地域包括支援サンタ—の方から会議に出席してもらい、事業所の実情を伝え、理解してもらっている。諸問題が生じた時は、市役所へ出向き相談したり、書面や電話等で随時対応している	実地指導の際は、市より運営のご指導を頂いている状況がある。 施設側の質問や、行政側からの問合せは、電話及び直接、市役所へ出向いて対応している。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所全体で、身体拘束廃止宣言を掲げ、委員会を設置し取り組んでいる。また、利用者の方の行動を把握し、不穏で落ち着かない時は職員間で状態を把握し、声掛けを工夫したり、好きな事をして気分を紛らわしたり、所在確認を行っている。危険防止を図る場合、一時的に施錠する場合があり、家族等には事前に説明し了承を得ている。		A.充分にできている 4 名 B. ほぼできている 3 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 対応が大変な時もあると思いますが、宜しくお願いします。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人及び事業所全体で、委員会を設置し、虐待の防止に取り組んでいる。委員を中心に虐待についての勉強会を事業所内で行い、制度等に対する理解を深めている。 又、管理者等を中心に職員一人ひとりが虐待を見逃さない環境と情報共有を大切にしている。職員がストレスをためないように配慮している。		A.充分にできている 3 名 B. ほぼきている 4 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B 虐待のニュースを見ると不安になりますが、いろいろな取り組みをされているので安心しています。 A 優しく接してもらっているので心配なくお願いしています。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度を利用している方、生活保護を受けている方がいる為、勉強会を行い、制度に対する理解を深めている。今後も利用者の方に必要性が生じた場合には、関係者と十分に話し合い活用できるように体制を整えている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者及び家族代表・代理人等との契約、契約解除又は改定などの際は、責任者を指定し実施している。また、契約時などにおいて不安や疑問などが生じないよう、分かりやすい言葉で説明したり、説明文書を作成し、理解納得が出来ているか確認しながら説明できるよう体制を整えている。			

9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族等が訪問した際や電話等で、生活状況を説明し、意見や要望を聞き、利用者の方や家族等の満足が得られるように配慮し運営に反映させている。また苦情等に関しては、責任者を指定し早期に解決に向けて検討会を開催し、再発防止に努めている。		A. 充分にできている 6 名 B. ほぼできている 1 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 要望などがないかよく聞いてもらっている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者及び法人役員と管理者等で月 1 回定例会議を開催し、情報交換及び定例会議等を開催し、相互の意見交換を行い、事業所及び法人の運営に反映させている。又、意見や要望、苦情があった場合は、ユニット会議等で職員全体が内容を把握できるようにしている。また、事業所の意見を法人に対しても反映させている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に人事考課があり、業務に対する能力や成果、意欲等、総合的に評価されることで、職員一人一人が目標を立て向上心を持って働くことが出来るようになっている。又、代表者が事業所を訪問し、職員の意見や要望を聞き運営に反映されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている 7名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B 介護の仕事を長く勤めて頂くように頑張っていただきたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で WEB 研修が増えたため、参加できるように機器をそろえ WEB 環境を整え職員一人一人の能力、特性を考え、必要な研修を受講できるようにし、職員の資質向上を図っている。又、研修内容は、会議等で他の職員に伝達教養を実施している。働きながら、資格取得できるように勤務を調整する等、環境を整えている。		A. 充分にできている 1名 B. ほぼできている 6名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B 介護の仕事は大変だと思いますが、頑張っていただきたいと思います。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、法人内の他の事業所の管理者との交流を通じての問題点や改善点及び、良かった点などについての話し合いを行い、事業所のサービスの質の向上に努めている。又、県グループホーム協議会の県大会及び村山ブロック会議に参加し情報交換や協力体制を作り、相互のサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来ること出来ない事を見極め、本人の得意分野での役割を持ち、共同生活の目的に沿った生活が営まれるように努めている。又、その方の経験や知識を生かせるような場面を設け、互いに助け合いながら生活が出来るように支援している。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方や家族等から得た情報をもとに、会話の中でこれまで関わりのあった人や場所や場面等について話題を提供し、良好な関係が保持できるように努めているが、コロナ禍の為、気軽な家族等や知人の面会が難しい状況にあった。制限付きではあったが、面会の希望がなかなか増えない状況があった。出来る限り、関係性が途切れないように窓越しでの面会や電話での会話を行っていただいた。	面会の制限を設けつけ一部面会の解除を行い、事前に予約をうけ対応することが少しずつ増えてきている。そのほか、窓越の面会や、電話での会話等工夫しながら関係性が途切れないようにしている。今後、コロナが落ちついたら、家族に限らず、友人等との面会や馴染みの場所等への外出をして行きたい。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で本人の思いを聞いたり、来所持に家族等から意見や要望を聞いて、意向を把握し、その人らしい生活が出来るように目標を設定し、支援している。又、意思疎通が困難な場合でも日々の行動などからしたいことを考え、その人の尊厳を尊			

				重し本人が望む生活が遅れるように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のモリタリングや定期的にケアカンファレンスを行い、利用者の方の状態の変化や現状の情報を交換し本人のニーズの堀り起こしに努め、必要なケアの把握に努めている。又、家族等からの要望や意見を電話連絡や来所時に聞き取り介護計画に反映する様にしている。	毎月のモニタリングで、日々の状態変化を把握している。ケアカンファレンス前後で本人、家族等からどのような生活が送りたいかなどを聞いてケアプランを作成している。全職員が会議やノートなどで情報を共有し、統一した支援が出来るように努めている。	A. 充分にできている 3 名 B. ほぼできている 4 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B 定期的に分かりやすく説明を頂いている。 A 要望などがないか聞かれるので、意見を出しやすい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者本人の日常生活の状態の観察を行い記録し、変化を見逃さず、申し送りや会議の際に、報告・相談・検討し、早めの対応を行い諸問題の解決に努めている。又、把握した情報を職員全員が共有し、統一したケアを行うとともに、介護計画を必要に応じて見直している。		A. 充分にできている 3 名 B. ほぼできている 4 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 何かあれば連絡があり、相談して頂いているので、安心している。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態の変化に応じてニーズも変わることがあるため、その都度職員間で情報を共有し、ケア、対応の変更に努めている。コロナ禍で、家族等と直接会う機会が減り、要望をくみ取る努力が必要になっている。	コロナ禍で制限はあるが、家族等から意見を聞いたり、日常の会話の中から、要望やニーズを把握し、職員間で共有している。 本人、家族等へ他サービスの提案を含め話し合いを行い要望に合わせて支援している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、地域の行事へ参加や地域の慰問ボランティアの方の協力を得ることが思うように出来なかったが、地域神社の例大祭を見学し、祈祷して頂いたり、地域の方に広報誌で事業所の情報を公開し、理解を深めてもらい、できるか限り交流が途切れないように努めている。	家族等や本人様の協力を得ながら面会や外出等の制限を一部解除し、条件付きで対応している。 感染対策を講じながら、通院を継続したり、可能な範囲で、近所への散歩やドライブを行っている。		

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関による定期診察・予防接種などの他、訪問歯科検診・口腔ケア・治療など希望、必要に応じ対応できるような体制を整え連携している。又、入所以前からかかっていた病院等に継続して通院している利用者の方もおり、情報提供等、対応が出来るように体制を整えている。家族等の協力を得ながら通院体制確立し、適切に対応支援している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、利用者の方の入退院時において付き添いが１名と限定されており、面会が出来ない状況にあった為、情報交換や相談が気軽にできなかったが、定期的に病院のソーシャルワーカーや看護師、家族等に電話で状況を確認するなどして早期退院に向けて対応していた。		A. 充分にできている １名 B. ほぼできている ６名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化等に対する指針を定め、入所時において家族等に説明をして理解していただき、文書化して同意を頂いている。又、事業所で出来ること、出来ないことを事前に説明すると共に、利用者の状態の変化に対応できるよう、医療機関や家族等との話し合いを行いその情報を職員と共有している。		A. 充分にできている 3 名 B. ほぼできている 4 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 説明を受けている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の急変や事故発生に備え、事業所の任務分担を明確にし、連絡網を作成し、グループラインを作り、職員が一致協力して対応できる体制を整えている。又、職員は応急手当、AED 講習を受ける等、初期対応訓練を実践している。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々の状況を想定し、災害時における避難訓練を繰り返し実施し、避難方法を身につけておくと共に、自主防災会の会長を中心に避難時の協力体制を確認し、確保している。コロナ禍で消防署員の派遣が急遽行われず、自主で行った。訓練の報告を運営推進会議で行い、意見を伺い問題点の把握に努め、より良い対策を講じるよう努めている。	消防署の方と話をしており、三階建ての建物の為、階段で避難できない場合、平行避難が現実的で有効ということで、訓練を繰り返し行い有事に備えている。天童市の洪水ハザードマップからは外れているものの、水害を含め様々な災害を想定して訓練している。 2 町内会長：自主防災会長とはどこまでの話になっているのか。 管理者：口頭での協力依頼にとどまっているため、来年度は訓練を一緒に行うなどより具体的な協力をお願いしていければと思います。	A. 充分にできている 2 名 B. ほぼできている 5 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 定期的に訓練している報告があるので安心できる。 B 予防できるところは予防に努めて頂きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人にあった声掛けや名前の呼び方など、人格を尊重しながら、親しみのある言葉掛けや対応を行っている。また、何事も否定するような言葉は使わないように努めて		A. 充分にできている 2 名 B. ほぼできている 5 名 C. あまりできていない	A 丁寧に対応してくれているのが分かり安心しています。

				いる。部屋に入る際は、声掛け、ノックをし、着脱や入浴、トイレの介助等に 関しては、他の人の目に触れないように配慮している。又、個人情報使用に関する指針を定め、事業所全体で注意を喚起している。		D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方のこれまでの生活や考え方に沿った支援に努めている。一人一人の生活のリズムに合わせて過ごせるように努めている。又、ストレスがたまらないように散歩やドライブなど外出する機会を作り、季節に応じた行事を取り入れ、利用者の希望にそった生活が出来るように支援している。			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、一緒に料理の下準備や後片付けをしてもらうことは出来ていないが、テーブルを拭くなどして頂いている。夏祭りや敬老会等の季節の行事に合わせて、お祝いメニューや郷土料理などで食事を楽しむ機会を設けている。食材の切り方や彩り良く見える盛り付けを工夫し、その人に合った量、食事形態（刻み・ミキサー・粥）にして提供している。		A. 充分にできている 2 名 B. ほぼできている 5 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B コロナが落ちついたら本人が出来ることをさせてもらえたらいいと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の一日の食事状況を観察、記録し、個々のカロリーや水分摂取量を把握し、健康維持に努めている。医師の指示で、個人的に高カロリーの補助食品をとっている方もいる。又、水分摂取の重要性を認識し、こまめに水分補給を行ったり、嚥下能力の低下がある方には、トロミ剤を使用し、とろみをつけて			

				飲み込みやすくなる工夫をし、水分を摂って頂くようにしている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、個々の能力に応じ、声掛けし歯磨きを促し、介助を行う等、口腔ケアを行い清潔保持に努めている。コロナ禍で、今年度も年１回の歯科検診を受けることが出来なかったが、必要に応じて歯科受診や往診、口腔ケアなどを受けることが出来る体制がある。		A.　充分にできている ２名 B.　ほぼできている ５名 C.　あまりできていない D. ほとんどできていない	A いつもきれいにして頂けるのでありがたい。 B コロナが落ちついたらまた年１回検診を受けられるようになるといいと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の排泄パターンや情報を共有、把握し、一人一人に合わせた時間にトイレ誘導や声掛け（促し）を行い、排泄の自立を踏まえ個々に支援している。また、尿意、便意が希薄になっている方についても時間帯を見計らい排泄の習慣化を図っている。排便状況を把握し、内服薬の調整等を行っている。		A.　充分にできている ５名 B.　ほぼできている ２名 C.　あまりできていない D. ほとんどできていない	A 本人の状態に合わせて対応してもらっているのでありがたい。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気温や季節に合わせて浴室等の温度調節を行い、快適に入浴できるようにしている。又、入浴剤を入れる等、入浴が楽しめるよう工夫している。利用者間の関係に配慮し,希望に沿った入浴が出来るように支援している。又、体調、気分に合わせて時間や曜日を変更するなどの対応をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間安眠できるよう、日中は軽体操や趣味活動、散歩等を行い、活動的に過ごして頂いている。一人一人の身体状況や体調に応じ、時間を決めて、夜間の睡眠に支障が出ないように日中も休息をとって頂いている方もいる。居室の温度や湿度等、常に確認して安眠が図れるよう支援している。			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が、利用者個々の病状と症状、服用している薬の必要性を理解すると共に、医師の指示に基づき服薬管理、副作用の有無などの観察を常に行っている。変化等があれば主治医等に報告・連絡するようにしている。		A. 充分にできている 6 名 B. ほぼできている 1 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 施設で管理、対応してもらっているので安心している。 A 看護師さんがいるので、一任しています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活歴や趣味、希望を聴取し、入所後も継続して続けられるよう個々の利用者に応じた支援をしている。また、役割を持つことで、使命感や達成感を味わってもらい、生き生きとした生活が送れるようにしている。個々の能力を引き出し、楽しみ事を見つけ気分転換ができるよう配慮している。	アセスメントをしっかり行い、一人一人の出来る事、出来ない事を見極め、役割を持ったり、好きなことをして生活していただく事で生き生きとその人らしい生活ができる様に支援している。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活の中に散歩やドライブ等、外出する機会を設け、四季を通じての企画行事（花見・紅葉狩りなど）で、日ごろ行けないような場所を取り入れ、外出支援を行っている。又、プランター菜園や玄関先の花への水まきや草取り・収穫等、利用者の意向を尊重しながら戸外に出掛けられるようにしている。	コロナ禍の為、気軽な外出は出来ていないが、少人数で蜜を避け、花見や紅葉狩り、ドライブ、散歩に出かけ、気分転換を図るように努めている。又、玄関のプランター菜園の野菜の収穫等を行っている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所で預かっており、本人が希望した場合は少額の金銭を所持して頂いている。コロナ禍の為、ほぼ買い物の機会はないが、必要なものを本人に代わり購入し、出納帳を使いその内容と残高を毎月、家族等に報告している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望時に家族等に電話を取り次ぎ、プライバシーに配慮し気兼ねなくやり取りができるようにしている。			

				又、年賀状を書いて出す等して、家族との繋がりを大切にしていけるように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共有部分は利用者の方が不快感を招かないよう温度や湿度・照明等、注意を払っている。季節感が出るような壁画や装飾、四季折々の草花を飾り、雰囲気作りを工夫し少しでも和めるように心掛けている。又、利用者間のトラブルソを避ける席の配置や車イスの方を誘導しやすい導線を考え、ソファーやテーブル、テレビの配置に気をつけ、居心地よく過ごしてもらえるようしている。エレベーターが設置されてあり、バリアフリーになっているため、車イスの方でも安心して過ごすことができるようになっている。		A. 充分にできている 5 名 B. ほぼできている 2 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A ソファーに座ったり、部屋で過ごしたり、自由にできるようなのでいいと思う。

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的にコミュニケーションを通し、本人のやりたいこと等、意向を確認している。言葉にできない方も行動から思いをくみ取り、意向に沿った生活が出来るように支援している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴等、本人・家族等から得た情報をもとに、希望を引き出しながら本人が望む生活が出来るようケア、支援している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に医療やケアに関する希望を聞き、本人の希望や心身の状況にあった通院や往診を受けて頂いている。通院の方には、感染予防策を徹底しながら家族等の協力を得て受診して頂いている。往診の際は、日々の体調等の変化		A. 充分にできている 3名 B. ほぼできている 4名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 往診の状況をきちんと報告して頂いている。 B 通院の時に血圧などの情報を教えてもらい、助かります。

				を報告し、健康維持ができる様に支援している。			
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の面談等で生活歴等を聴取し、生活リズムや食生活等、出来る限り習慣化した暮らしが継続できるようにしている。その方のペースに合わせた暮らしをして頂いているが、外出を望む方の支援がコロナ禍で場所によっては難しい状況もあり、密にならない場所(神社等)に感染対策をしながら出かけている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に馴染みの家具や衣類、思い出の物、写真等を持ってきてもらっている。又、行事の写真や自分の作品等を居室の壁に張り、明るい雰囲気となっている。		A. 充分にできている 5 名 B. ほぼできている 2 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 部屋をきれいに整頓して頂いているので、快適に過ごせていると思います。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、思うように外出は出来ないが、感染に注意しながら、近くの神社への散歩や神社の元朝参り、お祭りの見物などを行っている。紅葉狩りやお花見などの行事も蜜を避けて行っている。玄関先に出て、プランターで育てた花や野菜を鑑賞したり、収穫してもらっている。	元旦参りや神社のお祭りの見物等、感染に気をつけながら少人数で出かけている。人混みを避け、外出時は木や草花に触れて頂き季節感を味わっていただいている。コロナが終息した際には買い物等、希望に応じた外出が出来るようにしたい。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行や心身の状態により、出来ること・出来ない事・分かること・分からない事が変わっていくので職員間で情報を共有し、本人と希望と今できることを踏まえ、安全面を考慮しながら役割りを持ってもらっている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お茶やおやつの時間など日々の生活で団らんできる時間がある。テレビや雑誌で見聞きしたことや若いころ(昔)の話などをされたり、日々の活動や行事等を通して会話も増え、楽しく過ごしている。		A. 充分にできている 6名 B. ほぼできている 1名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 行事などの写真で楽しそうに過ごしているのが分かり、安心している。 A 仲の良い人がいるようなので安心しています。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍もウィズコロナの時代となったが依然として感染リスクは高く、地域の人との面会や来訪もできていない。行事等でもボランティアの方を呼べず、外部との交流が途絶えている。直接的な交流が出来ない為、地域の方にはホーム便りの回覧などで活動を継続し報告している。	コロナ禍で依然、地域の方や行事等でのボランティの方との交流が出来ていないが、地域の方には回覧版でホームの様子を少しでも知っていただくために今後も継続してお知らせしていきたい。コロナが落ちついたら少しずつ対応していきたい。		

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、地域の人と交流することは難しいが、いつも顔見知りの職員と生活を共にすることで、親しみ支えあって安心して過ごすことが出来ている。家族等とは窓越しでの面会などで気軽に触れ合うことができなくなって事は、利用者の方の安心に少なからず影響していると思う。	ホーム便りを楽しみにしてくれる地域の方もいるので、今後も地域や家族の方に継続して回覧、配布していきたい。 コロナ禍で地域や家族の方と接する機会が制限されているところはあるが、職員が利用者の方の立場に立ち、尊重しながら安心して生活できるようにと努めていきたい。	A. 充分にできている 3 名 B. ほぼできている 4 名 C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A 職員の方から丁寧に接して頂いているので安心しています。 B コロナで面会が難しい状態ですが、高齢なので仕方ないことだと思います。